

令和4年度 第2回

青梅市教育委員会定例会会議録

日 時 令和4年5月6日（金）午後1時30分
場 所 青梅市役所3階教育委員会会議室

第2回青梅市教育委員会（定例会）議事日程

会 期 令和4年5月6日（金）1日間
場 所 青梅市役所3階教育委員会会議室
日 程

- 1 教育長開会および開議宣言
 - 2 会議録署名委員の指名
 - 3 教育長報告事項
 - 4 議案審議
議案第1号 青梅市社会教育委員の委嘱について
 - 5 教育長閉議および閉会宣言
-

教育長報告事項（再掲）

- 1 議会報告（教育部）
 - 2 令和4年度児童・生徒数および学級編制について（学務課）
 - 3 令和4年度特別支援学級教科用図書採択日程について（学務課）
 - 4 諸報告
 - (1) 委員会等会議録
 - ア 青梅市社会教育委員会議会会議録（社会教育課）
 - (2) 事業等の実施予定について
 - ア 生涯学習事業実施予定について（社会教育課・文化課）
 - (3) 事業等の実施結果について
 - ア 生涯学習事業実施結果について（社会教育課・文化課）
 - 5 青梅市教育委員会事務委任規則第3条にもとづく専決処分の報告について（教育総務課）
-

出席委員	教 育 長	橋 本 雅 幸
	教育委員会委員	大 野 容 義
	教育委員会委員	稻 葉 恭 子
	教育委員会委員	百 合 陽 子
	教育委員会委員	杉 本 洋

出席説明員	教 育 部 長	布 田 信 好
	教育総務課長	芥 川 純一郎
	学 務 課 長	山 田 浩 之
	指 導 室 長	拝 原 茂 行
	教育指導担当主幹	鈴 木 章 郎
	学校給食センター所長	中 村 浩 二
	社 会 教 育 課 長	遠 藤 康 弘
	文 化 課 長	北 村 和 寛
	美 術 担 当 主 幹	田 島 奈都子

書 記	教育総務課庶務係長	須 崎 満
	教育総務課庶務係	渡 邊 雅 哉

午後1時30分開会

日程第1 教育長開会および開議宣言

【教育長（橋本）】 本日の定例会には、教育長および委員4名が出席しておりますので、本会議は成立いたしました。

これより、令和4年度第2回青梅市教育委員会定例会を開会いたします。
本日の会議を開きます。

日程第2 会議録署名委員の指名

【教育長（橋本）】 初めに、会議録署名委員の指名を行います。

本日の会議録署名委員には、稲葉委員を指名いたします。

【委員（稲葉）】 はい、わかりました。

【教育長（橋本）】 次に、令和4年3月18日開催の令和3年度第15回定例会の会議録につきましては、前回の定例会でご配付し、それぞれご覧いただいておりますので、よろしければこの場でご承認をいただきたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

【教育長（橋本）】 ご異議がないようでございますので、令和3年度第15回定例会の会議録につきましては、ご承認をいただきました。

【教育長（橋本）】 次に、本日の議事進行につきまして、教育長報告事項5につきましては、議事の都合上、本日審議される案件の最後に行います。

日程第3 教育長報告事項

【教育長（橋本）】 それでは、教育長報告事項から始めます。

まず初めに、委員の皆様からご報告を頂戴したいと思います。お願いいたします。

【委員（大野）】 2点ございます。

1点目ですが、前回の教育委員会定例会終了後に美術館で、栗原一郎展を見学させていただきました。いろいろとご説明いただいたことで、深く鑑賞することができました。

この連休中にNHKの総合テレビで、「星野源のおんがくこうろん」という番組がありまして、そのオープニングで星野源さんが「僕らが語らう姿をみているうちに、あら不思議。あなたの音楽の感受性が、いつの間にか田おこしされているかもしれません。」と言っているのを観ました。

美術館を訪問した後なので、この意味が何となくわかったような気がしました。私のように美術に疎い者が絵を見ても、退屈に思うことも多いのです。しかし、説明を聞きながら鑑賞することで、少しずつ私の美術への感受性が田おこしされていくのではないかと。つまり、美術館の存在意義は何かと考えたときに、美術愛好家にとっては聖地かもしれませんが、美術に疎い者にとっても、美術

館に出向くことによって美術への感受性が田おこしされていく。そういうような役割があるのだなど、あらためて気づかされました。

2点目ですけれども、これまでもお願いしてきましたが、あらためてお願いをしたいと思うのです。ICTを活用した教育がここで大きく始まったわけですけれども、タブレット端末を使った勉強を児童・生徒が始めています。教育委員の私たちは、当たり前ですけど、タブレット端末で学習をした経験がございません。学校訪問に行った際に結構ですので、先生方の負担にならない程度で、ICT教育の可能性とか問題点について私たちなりの知見を得るために、私たちを児童・生徒に見立てて、実際に使っているタブレット端末でドリル等を勉強し、またはグループチャットで意見交換してみなさいなどというような体験を小中で1回ずつさせていただけるとありがたいなと思います。学校訪問では時間がないとすれば、あらためて学校と相談して時間を設けていただいて、ぜひそういうふうな体験を私たちにさせていただけたらありがたいと思います。ご検討をお願いします。

【委員（稲葉）】 2点ございます。

1点目は、ヤングケアラーの調査がどれくらい進んでいるのか気になっています。

2点目は、今年の12月に民生委員の改選があると思うのですが、現在青梅市には12名の児童主任委員さんがいらっしゃるのですが、中学校区で割り振っているので1人で小学校5校を担当している児童主任委員さんがおられます。いじめの問題やら虐待の問題やら複雑になってきていますので、改選時期に併せて12人から増やしていただきたい。各小学校に1名主任児童委員さんがいると、学校運営協議会と主任児童委員さんとの交流もできるし、地域の子どもたちの見守りがしやすくなるのではないかと思います。主任児童委員さんも、1人で何校も担当するよりも、一つの学校を担当していれば、その学校に専念できるし、子どもたちの把握もしやすいし、先生方との連携や相談員との連携もしやすいと思います。これは福祉総務課が担当かと思うのですが、教育委員会から、小学校1校に1人の主任児童委員さんを設置するように働きかけていただけたらと思います。人選がとても難しいかもしれませんが、ご検討いただけたらと思います。

【教育長（橋本）】 ありがとうございます。今の件は福祉総務課へお伝えさせていただきたいと思います。

【委員（百合）】 私も美術館へ訪問した際の話ですが、画家が生きてきた時代の背景等のお話を聴きながら鑑賞すると絵の見方も変わってくるのだなと思いました。また見たくなって一昨日も行ってきました。一般のお客さんにも、詳しく解説があると、より鑑賞する楽しみができると思うので、そういう機会をつくっていただきたいと思いました。ありがとうございます。

【委員（杉本）】 私も美術館の見学についての感想です。せっかく美術館に地元の作家の作品が並んでいるのですから、今後、例えば各小学校、中学校で定期的に見学へ行き、そこに先日のような作品についての解説がついたりしてもいいのではないのでしょうか。一般の方も時間を決めて、例えば毎週何曜日の何時からだと解説がありますとか、そういうような形でもっと身近なものにできたらと思いました。僕らはとても親切にお話しいただきましたが、一般の方はそういう機会が少ないようでしたら、毎日は大変かもしれないですが、美術館の方の解説を1日1回何時にやりますとい

うことがあると、次のリピーターにつながったりしていくのではないかという感想を持ちました。

それから、僕は日本画のことだとか、日本美術だとか、絵画の修復だとか、そういうことを専門にやっていますので、今後、美術・図工教科の先生方のお集まりのところで、いろいろなお話をする機会をもらえたらありがたいなというふうに思います。

【教育長（橋本）】 ありがとうございます。

私からもご報告申し上げます。このゴールデンウィーク、一定の制限がない時期ということで、昨日、東京文化会館に音楽のコンサートに行ってみました。電車は意外とすいていましたけれども、東京文化会館は満席でした。そんなに新しい建物ではありませんので、座席の間隔も広くはないですが、そういう中でも満席でコンサートが行われたと。これを小・中学校の行事等にどういうふうに活かしていったらいいのかなということを考えさせられたところでございます。

もう一点、以前お話ししたかと思いますが、黒沢にありますひまわりプールがあらためてオープンいたしました。1964年に誕生し、2000年に子どもの減少等で稼動がとまったプールが、この5月1日にあらためて動き出したというようなところでございます。去年の夏には地域の子どもたちがプールの側壁に絵を描いてくださって、それが可愛らしく、大変印象的なところでございます。今度機会があったら、委員の皆さまともぜひ一回行ってみたいなと思っているところでございます。

私からの報告は以上でございます。

1 議会報告（教育部）

【教育長（橋本）】 それでは、教育長報告事項を順次説明させていただきます。

初めに、教育長報告事項1、議会報告、を説明いたします。

【教育部長（布田）】 それでは、議会報告をさせていただきます。お手元の報告資料1、令和4年（2月定例議会）報告にもとづきましてご報告申し上げます。

1 ページ目をお願いします。

2月定例議会の会期は令和4年2月17日から3月25日までの37日間で、本会議は2月17日、3月9日、10日、11日14日および25日の6日間の日程で行われました。

議案審議につきましては、市長提出議案が40件、委員会提出議案が3件あり、括弧内に記載したとおりの可決および同意がなされております。陳情につきましては8件あり、趣旨採択が1件、不採択が4件、継続審議が2件、取り下げ1件となっております。要望書につきましては2件あり、参考配布とさせていただきます。

次に、一般質問について報告させていただきます。

一般質問は3月9日から11日の3日間行われ、教育委員会関係につきましては12人の議員から16件の質問があり、教育長からそれぞれ答弁いたしました。

初めに、島崎議員から、『青梅市は全国8位、共働き子育てしやすい街ランキング2021で』について』と題し、1回2項目の質問があり、1ページ下段から2ページ上段に記載のとおり答弁

しております。

また同じく島崎議員から、「吉川英治記念館の集客事業について」と題し、3回3項目の質問があり、2ページ中段から6ページ中段に記載のとおり答弁しております。

次に、結城議員から、「実効性のあるいじめ対策について」と題し、3回4項目の質問があり、6ページ下段から11ページ中段に記載のとおり答弁しております。

次に、阿部議員から、「部活動改革について」と題し、3回1項目の質問があり、11ページ下段から14ページ中段に記載のとおり答弁しております。

次に、迫田議員から、「市内小中学校におけるWi-Fi環境の整備実績について」と題し、3回5項目の質問があり、14ページ中段から16ページ上段に記載のとおり答弁しております。

次に、湖城議員から、「市内の小中学校のICT化について」と題し、3回4項目の質問があり、16ページ中段から19ページ上段に記載のとおり答弁しております。

次に、久保議員から、「第7次青梅市総合長期計画等について」と題し、1回2項目の質問があり、19ページ中段から19ページ下段のとおり答弁しております。

次に、ひだ議員から、「学校事故・いじめの問題に中立の立場の人の介入を」と題し、3回4項目の質問があり、20ページ中段から23ページ中段に記載のとおり答弁しております。

また同じくひだ議員から、「市内小中学校で男女混合名簿を使う検討の結果を問う」と題し、2回1項目の質問があり、23ページ中段から24ページ上段に記載のとおり答弁しております。

次に、井上議員から、「学校体育館のエアコンは早急に設置を」と題し、3回1項目の質問があり、24ページ中段から27ページ上段に記載のとおり答弁しております。

次に、藤野議員から、「教育費の負担を軽くし、子育て支援の充実を」と題し、3回2項目の質問があり、27ページ中段から29ページ中段に記載のとおり答弁しております。

次に、ぬのや議員から、「子どもをめぐる諸問題解決のため、コミュニティ・スクールと特認校制度の活用を」と題し、3回2項目の質問があり、30ページ上段から31ページ上段に記載のとおり答弁しております。

次に、大勢待議員から、「地産地消の学校給食について」と題し、3回3項目の質問があり、31ページ中段から33ページ上段に記載のとおり答弁しております。

また同じく大勢待議員から、「市内小中学校のICTの活用状況について」と題し、1回1項目の質問があり、33ページ中段から34ページ上段に記載のとおり答弁しております。

次に、鴻井議員から、「シビックプライドの醸成を」と題し、1回3項目の質問があり、34ページ中段から35ページ上段に記載のとおり答弁しております。

また同じく鴻井議員から、「学童保育のトイレ改修について」と題し、3回1項目の質問があり、35ページ中段から36ページ下段に記載のとおり答弁しております。

以上で一般質問の内容につきましての報告とさせていただきます、続いて新型コロナウイルス対策特別委員会、福祉文教委員会、令和3年度補正予算にかかる予算決算委員会および令和4年度当初予算にかかる予算決算委員会の内容につきまして、各担当課長から報告させていただきます。

【教育指導担当主幹（鈴木）】 それでは、新型コロナウイルス対策特別委員会につきましてご報告申し上げます。

36ページ下段をご覧ください。当委員会につきましては2月21日に開催をされております。ぬのや委員からは、学校での濃厚接触者の判断についての質問がありました。

37ページ上段から、藤野委員からは、学校での抗原検査キット配布等について2点、質問がありました。

37ページ中段、榎澤委員からは、学年閉鎖や学級閉鎖の基準についての質問がありました。

37ページ下段から38ページ、迫田委員からは、感染割合について青梅市と東京都全域や国全体のデータとの比較・分析等についての質問が6点ありました。

それぞれ記載のとおり答弁しております。

新型コロナウイルス対策特別委員会についての報告は以上でございます。

【学校給食センター所長（中村）】 続きまして、福祉文教委員会につきましてご報告申し上げます。

38ページの下段をご覧ください。当委員会につきましては3月4日に開催されております。

学校給食センターから2件の報告を行っております。

まず1件目の内容でございますが、「根ヶ布調理場敷地にかかる土壌調査の結果について」と題しまして、土壌調査の結果と今後の手続について報告をしたものでございます。

続いて39ページをお願いいたします。山崎委員、榎澤委員の2人の委員から質問がありました。

初めに、山崎委員からは、調査結果を自主的に都へ申請することのメリット、土壌対策を行う時期について、2項目の質問がありました。

次に、榎澤委員からは、土壌対策の方法、入れ替える土の処理、手続の必要性について、3項目の質問がありました。

答弁の内容につきましては記載のとおりでございます。

続きまして、39ページ下段でございます。2件目の報告内容は、新学校給食センター整備事業のスケジュールについてであります。

山崎委員から、設計期間が長いのではないかという質問があり、記載のとおり答弁しております。

福祉文教委員会についてのご報告は以上となります。

【教育総務課長（芥川）】 続きまして、予算決算委員会につきましてご報告申し上げます。40ページになります。

当委員会につきましては、3月7日および16日、17日、22日の計4日間開催されております。

初めに、令和3年度補正予算第12号につきましてご報告をいたします。こちらにつきましては、3月7日に行われております。

まず、教育総務課関係としまして、山崎委員より、教育費全体の増額理由について2件。続きまして井上委員より、工事の前倒し等について4件。41ページ上段、ぬのや委員より、外壁等改修工事について6件。42ページ、山内委員より、学校体育館の空調整備について3件。続きまして、

ひだ委員より、空調整備の都補助金について1件。以上5名の委員から質問がありまして、それぞれ記載のとおり答弁しております。

教育総務課からは以上です。

【指導室長（拝原）】 続きまして、43ページ上段をご覧ください。

寺島委員から、教員用学習端末および電子黒板等について3件の質問がありました。記載のとおり答弁しております。

指導室からは以上です。

【教育総務課長（芥川）】 続きまして、予算決算委員会（令和4年度当初予算）につきましてご報告申し上げます。

予算決算委員会につきましては、3月16日、17日および22日の計3日間開催され、教育費関係につきましては、3月22日に行われました。

43ページの下段になります。まず教育総務課関係としまして、山崎委員より、教育法務担当について3件。44ページ中段、山田委員より、民間プールの活用について4件。45ページ、阿部委員より、学校プールの施設整備について2件。みねざき委員より、特別教室等空調機整備工事等について7件。46ページ中段、結城委員より、教育法務担当およびいじめ問題等について6件。48ページ、ぬのや委員より、教育法務担当について1件。以上6名の委員から質問がありまして、それぞれ記載のとおり答弁しております。

教育総務課からは以上です。

【学務課長（山田）】 48ページの中段をご覧ください。

学務課関係といたしましては、寺島委員より、指導者用デジタル教科書について3件。48ページ下段、阿部委員より、就学相談について4件。49ページ中段、ひだ委員より、日本スポーツ振興センター災害共済給付制度について1件。大勢待委員より、教育相談所の内装改善について1件。藤野委員より、小規模特認校について6件の質問があり、それぞれ50ページ中段まで記載のとおり答弁しております。

学務課からは以上でございます。

【指導室長（拝原）】 指導室・教育指導担当関係といたしましては、5名の委員から質問がありました。

初めに、50ページ中段、寺島委員から、デジタル教科書および外国人英語指導補助業務委託料等について5件の質問がありました。

続きまして、51ページ中段をご覧ください。ぬのや委員より、学校運営連絡協議会等について3件の質問がありました。

続いて、51ページ下段をご覧ください。片谷委員より、スクールソーシャルワーカー等について3件の質問がありました。

続いて、52ページ中段をご覧ください。ひだ委員より、学校図書について5件の質問がありました。

続きまして、53ページ中段をご覧ください。藤野委員より、子どもの読書活動推進等について、およびジェンダーフリーの関係等について6件の質問がありました。

それぞれ記載のとおり答弁をしております。

【社会教育課長（遠藤）】 社会教育課関係といたしまして、54ページの中段になります、山崎委員より、オリンピック・パラリンピックレガシー事業について2件。54ページ下段になります、片谷委員より、同じくオリンピック・パラリンピックレガシー事業について5件。55ページ中段になります、ひだ委員より、学校司書の配置について1件。55ページ下段になります、山内委員より、アートによるまちづくり推進事業について3件の質問があり、それぞれ記載のとおり答弁しております。

社会教育課からは以上でございます。

【文化課長（北村）】 続きまして、文化課・美術担当関係になります。4人の委員から質問がありました。

初めに、56ページの中段から下段になりますが、天沼委員から、旧吉野家住宅の屋根葺き替え工事の総工費やスケジュールについてなど3項目の質問がありました。

次に、56ページの下段から57ページの中段になりますが、ぬのや委員から、郷土博物館職員のうち学芸員資格を有する職員数についてなど4項目の質問がありました。

次に、57ページの中段から58ページの上段になりますが、ひだ委員から、美術館の共催展の展示作品についてなど2項目の質問がありました。

最後に、58ページの上段から下段になりますが、山内委員から、旧吉野家住宅の屋根葺き替え工事の金額についてなど5項目の質問がありました。

それぞれ記載のとおり答弁しております。

予算決算委員会についての報告および各委員会の報告につきましては以上でございます。

【教育長（橋本）】 説明は終わりました。大変ボリュームのある議会でしたが、ただいまの説明に対しましてご質疑等ございましたらお願いいたします。

【委員（大野）】 感想です。一般質問などで質問が出るということは、つまり市民の代表の議員さんですから、市民がどれだけ何に関心を寄せて期待しているかということのあらわれかと思います。そういう点で、ICT教育、それから教育法務担当、この2点が多いような気がしました。ずいぶん期待が寄せられているなという印象でした。

以上です。

【委員（稲葉）】 2ページのところに、1年生向けのスタートカリキュラムのことが載っているのですが、スタートカリキュラムを導入してからどういう効果があったのか知りたいです。

コロナ禍ですので、コロナ前のカリキュラムとはずいぶん違っていると思います。スタートしたところで、いろいろな試みがあると思うので、そこは検討していかないといけないと思います。新1年生向けのプログラム立てというのはどういうふうになっているのかと思い、詳細がわかれば教えてください。

【指導室長（拝原）】 このコロナ禍において幼稚園・保育園・小学校の連携をすることについて、なかなか延期・中止等でできていなかったところがございます。今年度につきましては、幼稚園・保育園の園長と小学校長の懇親を深めるために、顔を直接あわせて話し合いながら、小学校に安心して入学できるような取り組みについて推進していこうということで、始めているところでございます。

【委員（百合）】 58ページ、山内委員の質問のところに、市民見学会が大変好評のようだったと書いてあるのですが、私たちも葺き替え中の作業の様子を見させていただいて、説明を聴きながら見るというのはとても興味もありますし、わからなかったことがたくさんわかって、より興味を持てたと思うのです。一般の方もそうだと思うので、せっかく大金を使って綺麗になったものなので、ぜひ完成したものをまた説明を聴きながらゆっくり見学できる機会を設けてもらえたらなと思えました。

【文化課長（北村）】 旧吉野家住宅の屋根葺き替え工事につきましては、4月21日に東京都の検査を実施いたしました。今は茅葺き屋根の葺き替え工事が終わりました、杉皮葺きの屋根の工事が残っているのみとなっております。予定では、6月の末ごろには工事が完了する予定であります。公開できる態勢が整いましたら、完成見学会を実施し、工事の様子を撮影した映像等も、編集が間に合いましたら市民の方々にご覧いただきたいと考えております。

【教育長（橋本）】 この工事の様子は、ドローンを使って記録もしてございますので、教育委員の皆様にもご覧いただくとともに、学校の教材等で使えればというようなことも考えてございますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

ほかにはいかがでしょうか。よろしいですか。

2 令和4年度児童・生徒数および学級編制について（学務部）

【教育長（橋本）】 それでは次に、教育長報告事項2、令和4年度児童・生徒数および学級編制について、を説明いたします。

【学務課長（山田）】 それでは、報告事項2、令和4年度児童・生徒数および学級編制についてご報告申し上げます。

報告資料2、令和4年度児童・生徒数（4月7日現在）をご覧ください。

この資料は、青梅市立小・中学校に関する令和4年4月7日現在の児童・生徒数および学級数を示したものでございます。

表は左から、学校名、新1年から学年順に男女別児童・生徒数と合計、中ほどに通常学級の合計、さらに届出学級数（実学級数）、特別支援学級（固定）、特別支援教室・特別支援学級（通級）の児童・生徒数と学級数、最後に特別支援教室・特別支援学級（通級を除いた）合計。

行については、上から小学校・中学校別、学校順の表示となっております。

初めに、小学校の児童数でございます。表の中ほど合計の列、東小学校の下の小学校計の行をご覧ください。通常学級の児童数の合計につきましては、5,170人でございます。昨年度

5, 401人に比べ231人の減となっております。

続きまして、学級数でございます。ただいまの合計、右列、届出学級数（実学級数）をご覧ください。現在の合計は188学級でございます。昨年度の191学級に比べ3学級の減でございます。

次に、右列の特別支援学級（固定）をご覧ください。児童数合計は291人で、昨年度の274人に比べて17人の増となっております。また、学級数につきましては39学級で、昨年度の37学級に比べて2学級の増となっております。

次に、さらに右列の特別支援教室・特別支援学級（通級）をご覧ください。児童数の合計は332人でございます。昨年度の328人に比べ4人の増となっております。なお、こちらに記載の特別支援学級（通級）につきましては、河辺小学校の「ことばときこえの教室」でございます。

次に、中学校でございます。表の下から2行目、左から右列に向けてご覧ください。

初めに、生徒数の合計は2,957人でございます。昨年度の3,006名に比べ49人の減でございます。

続きまして、学級数でございます。現在の合計は94学級で、昨年度の95学級に比べて1学級の減でございます。

続いて、特別支援学級（固定）でございます。生徒数合計は156人でございます。昨年度の148人に比べて8人の増となっております。また、学級数は合計21学級で、昨年度の22学級に比べ1学級の減でございます。

次に、特別支援教室・特別支援学級（通級）でございます。生徒数の合計は102名でございます。昨年度の104名に比べ2名の減でございます。

最後に、市内全体の児童・生徒数の合計でございます。一番下の行をご覧ください。本年度の通常学級における児童・生徒数の合計は8,127人でございました。昨年度の8,407名に比べ280人の減でございます。また学級数は282学級でございまして、昨年度の286学級に比べ4学級の減でございます。

次に、特別支援学級（固定）でございます。児童・生徒数の合計は447人でございます。昨年度の422人に比べ25人の増でございます。また、学級数の合計は60学級でございます。昨年度の59学級に比べ1学級の増でございます。

特別支援学級（固定）を含めた今年度の児童・生徒数の合計は全体で8,574人でございます。昨年度の8,829人に比べ255人の減でございます。また、学級数は342学級でございます。昨年度の345学級に比べ3学級の減でございます。

以上のことから、令和4年度におきましては、児童・生徒数は減少しておりますが、特別な支援を必要とする児童・生徒数は増加しているところでございます。

次に、報告資料の2枚目、平成29年度～令和4年度児童・生徒数推移（4月7日現在）および令和5年度～8年度児童・生徒数推計をご覧ください。

この表は、4月7日現在の平成29年から令和4年までの児童・生徒数の実数と、令和5年から8年度までの推計でございます。

一番下の行、総計と、その上の固定級の計をご覧くださいますと、先ほど1枚目の資料でご説明いたしましたのと同様に、過去6年間の実績におきましても児童・生徒数は減少、一方、特別な支援を必要とする児童・生徒の数は増加の傾向にあることがご確認いただけます。

なお、この将来推計につきましては、東京都が毎年5月に全地区の教育委員会を対象に実施する人口推計にかかる基礎調査により算出された、教育人口推計による数値でございます。この調査につきましては、4月1日現在の年齢別、校区別のゼロ歳から6歳までの幼児の数、学区変更の影響および集合住宅の建設予定戸数の状況等にもとづきまして、東京都にて過去の地区別の実績、増減等を勘案した上で算出されたものとなっております。こちらにつきましては、地区ごと、学校ごとの細かい状況までを反映しているものではないものようでございます。

例えば、成木小学校の行をご覧くださいますと、今年度、令和4年度の児童数は男女合計で59人、こちらは現在の数字でございます。その右列以降、令和5、6年度と進むにつれて児童数が毎年増加して、4年後の令和8年度には1.5倍の88人という推計がなされてございます。こちらにつきましては、あらためて東京都に確認をしたところ、個別の案件にはお答えできないということでもございましたけれども、推計につきましては新入児童の構成について学区内からの入学と学区外からの転入学の比率も考慮に入れているということでもございまして、その影響で増加の方向に数値があらわれているということではないかということでした。

いずれにいたしましても、都内全校において詳細までを反映させるのは相当難しいことと考えられますし、また成木小学校以外の小・中学校につきましても、増減については毎年上がったたり下がったりというのは出てございますので、次年度以降の推計につきましては、東京都が都内全校一律の基準で推計した参考数値としてご参照いただければと存じます。

報告につきましては以上でございます。

【教育長（橋本）】 説明は終わりました。ただいまの説明につきましてご質疑等ございましたらお願いいたします。

【委員（大野）】 目安で考えて、日本国中では1学年100万人、青梅市は1学年1,000人というふうに考えてきました。国全体で1学年100万人を切っていますけど、青梅の表を見ていただくと、平成29年度が総計で9,770人、令和4年度が8,574人でかなり切ってきていますね。これは教育委員会がどうこうできることではないけれども、やはり子どもがいると元気な地域になっていくし、市を挙げて子どもを育てやすいまちにつくっていくことがこどもの数をまた増やしていくことになるかと思えます。

これもまた感想で申しわけないですが、以上です。

【教育長（橋本）】 ありがとうございます。今、市長部局の方でも、いわゆる移住者対策、空き家対策を含めてやっておりますので、ここでどんな成果が出るかというところも少し注視しているところではございます。

ほかにはいかがでしょうか。よろしいですか。

3 令和4年度特別支援学級教科用図書採択日程について（学務課）

【教育長（橋本）】 次に、教育長報告事項3、令和4年度特別支援学級教科用図書採択日程について、を説明いたします。

【教育指導担当主幹（鈴木）】 それでは、報告資料3をご覧ください。令和4年度青梅市特別支援学級（知的固定）教科用図書採択日程でございます。

4月20日の定例教育委員会では、採択要領および令和5年度に使用する青梅市特別支援学級（知的固定）教科用図書の検討についてお諮りさせていただいたところです。本日は、以降の日程について報告させていただきます。

本日の定例教育委員会以降では、特別支援学級教科用図書検討委員会を6月上旬に第1回、7月上旬に第2回を予定しております。

また、6月8日から6月27日に教科書展示会を青梅市役所502会議室および青梅市中央図書館にて行います。この教科書展示会では、すでに検定合格をしている教科書を展示するものでございます。特別支援学級の教科書につきましては展示されませんので、ご承知おきください。

8月3日には検討委員会報告および説明として、教育委員協議会を予定しております。また、同日に教育委員会を開催し、採択を行う流れとなります。

日程の報告は以上でございます。

【教育長（橋本）】 説明は終わりました。ただいまの説明に対しご質疑等ございましたらお願いいたします。

よろしいですか。

4 諸報告

(1) 委員会等会議録

ア 青梅市社会教育委員会議会議録（社会教育課）

(2) 事業等の実施予定について

ア 生涯学習事業実施予定について（社会教育課・文化課）

(3) 事業等の実施結果について

ア 生涯学習事業実施結果について（社会教育課・文化課）

【教育長（橋本）】 次に、教育長報告事項4、諸報告ですが、あらかじめ委員の皆様には事前にお目通しいただいておりますので、この際何かご質問、ご意見等がございましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。

教育長報告事項は以上で終了いたします。

日程第4 議案審議

議案第1号 青梅市社会教育委員の委嘱について

【教育長（橋本）】 次に、議案審議に移ります。

議案第1号を議題といたします。「青梅市社会教育委員の委嘱について」を説明いたします。

【社会教育課長（遠藤）】 説明の前に、配付資料に誤りがございましたので、訂正をお願いしたいと思います。社会教育委員名簿の中に、一番上の欄の富田聖和氏の備考欄、青梅市小学校長会となっていますが、中学校長会の誤りでございます。それから、3段目、市川幸次氏の備考欄、青梅市体育協会副会長となっていますが、今は体育協会ではなくスポーツ協会ということになっております。その2点、訂正をお願いいたします。

それに関連しまして、資料2枚目、左側が現在の委員、右側が改選後の委員、その備考欄で一番上の小学校長会が中学校長会、3番目の体育協会がスポーツ協会ということでご訂正をお願いいたします。大変申しわけございませんでした。

それでは、議案第1号青梅市社会教育委員の委嘱についてご説明をさせていただきます。

本議案は、任期満了に伴い、社会教育法第15条の規定にもとづき、青梅市社会教育委員を委嘱しようとするものでございます。

任期につきましては、令和4年5月14日から令和6年5月13日までの2年間でございます。

名簿をご覧いただきたいと思います。左側が現在の委員でございます。右側が新たに委嘱しようとする委員名でございます。新任の委員は、一番上の富田聖和氏、6番目の鈴木齊太郎氏、7番目の鶴岡則子氏、8番目の白井順子氏の4名でございます。残りの6名については再任ということになります。

よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願いいたします。

【教育長（橋本）】 配付資料に誤りがあつたこと、大変申しわけございません。本来なら再配付させていただくところでございますが、お許しをいただきたいと存じます。

説明は終わりました。ご質疑等ございましたらお願いいたします。

よろしいですか。

それでは、これより採決いたします。

本件を、原案どおり決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

【教育長（橋本）】 ご異議ないものと認めます。よって、「議案第1号 青梅市社会教育委員の委嘱について」は原案どおり可決されました。

再 日程第3 教育長報告事項

5 青梅市教育委員会事務委任規則第3条にもとづく専決処分の報告について（教育総務課）

【教育長（橋本）】 次に、教育長報告事項5、青梅市教育委員会事務委任規則第3条にもとづく専決処分の報告について、を議題といたします。

本件は、青梅市教育委員会事務局職員の人事異動の決定に関し、青梅市教育委員会事務委任規則第3条の規定にもとづき、教育長の臨時代理をもって専決処分した事案の報告であります。

本件は、人事案件でありますことから、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7

項および同条第8項の規定にもとづき、非公開としたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

【教育長(橋本)】 ご異議ないものと認めます。よって、出席委員の3分の2以上の多数で議決しましたので、非公開とすることに決定いたしました。

ここで、関係する職員以外の退席を求めます。

[退 席]

〔公開〕

【教育長(橋本)】 ここから、会議を公開といたします。

【教育長(橋本)】 以上で、予定された案件はすべて終了いたしました。その他何かありますか。事務局からは、特によろしいですか。

それでは、今後の日程について教育総務課長からご説明申し上げます。

【教育総務課長(芥川)】 それでは、今後の日程についてでございます。

初めに、記載はしておりませんが、5月10日に東京都市町村教育委員会連合会の第65回定期総会が三鷹市で予定されておりましたが、今回書面開催ということになってございます。後日、三鷹市から事務局に資料がまいりますので、委員の皆様にもご配布させていただいて、ご意見等いただく予定となっております。よろしく申し上げます。

それでは日程に移ります。

まず、5月14日および15日、「釜の淵新緑祭2022」時間、内容、会場につきましては記載のとおりでございます。

次に、5月18日「第3回教育委員会定例会」午後1時30分から、会場は教育委員会会議室となっております。

今後の日程については以上です。

日程第5 教育長閉議および閉会宣言

【教育長(橋本)】 以上で本日の日程はすべて終了いたしました。これをもって閉会といたします。大変お疲れさまでした。

午後2時27分閉会

青梅市教育委員会会議規則第26条の規定により、ここに署名する。

青梅市教育委員会教育長

青梅市教育委員会委員